次號には神宮峯子孃の刺縫術 ●倉知氏の新樂譜 ●立花氏の脚本 ●美妙齋氏の小説

新様流行胸飾りの見本數種及び砒石白色法等が出て居ます

いらつめ第五十三號目次

●苔の花……勇と愛

●雑　纂……裁縫獨學び

並市二丈一尺を以て前襟の裁方＝一尺七寸幅一丈を以て四身裁方＝枕蚊屋の裁方＝四五の蚊屋を丈五尺に仕立てる寸方＝四六五六の裁方＝六七の裁方＝七十の裁方＝蚊屋及枕蚊屋の縫方

蠅蜜蜂の羽の震動數＝レモン製法＝紫色の白牡丹＝新發明電氣機械＝奇体な蠻＝蝸牛の活力＝支那人の奇風＝スペインの文學界＝大きさと長さ＝外國語を使ふ人數＝本よしみた油の拔き方

花顔玉手秘事

希臘人の肉色の美かした原因＝手の汗おさへ方

新流行和服の胸飾

黒八丈

漢字異語同義……秀溪子

●數　學……五十一号の解義

算術題五問＝代數題二問＝前号正誤

●通信問答……有色の手紙＝いらつめ開卷書の意匠＝湯上りよ水を浴る＝小芙蓉氏＝フケを取る法＝婦人書工＝押繪道具＝疑問

社告及び社則　いらつめ一部並製金二錢五厘郵税共金三錢、十二部金二拾九錢郵税共金三拾五錢、二十四部金五拾七錢郵税共金六拾九錢、三十六部金八拾四錢郵税共金壹圓〇二錢、四十八部金壹圓郵税共金壹圓二拾四錢〇別製一部金三錢五厘郵税共金四錢、二十部金六拾五錢郵税共金七拾五錢、五十部金壹圓六拾五錢郵税共金壹圓九拾錢〇並別兩製共前金領收の上で無くては差上げぬ事〇府内に限り無郵税〇每月二回（十日二十五日）發兌〇金子御差し送りの手續きは郵便小爲替なれば拂渡郵便局を記し受取人欄内に（神田平永町九番地成美社）と御記入の事〇郵券代用は郵便爲替の無い處に限り五厘切手で一割増しなれば妨げ無い事〇見本は五厘切手で並製五錢別製七錢領收の上差し上ます〇廣告料一行金八錢、割引無し

本号には蚊屋裁縫法●紫いろの白牡丹○花顔玉手秘事の中一二ヶ條

希臘人の美肌原因及び新流行和服胸飾りと黒八丈その記事が出て居ます

蕾の花

一名 小學校 （第四）

第十六 勇と愛 （上）

たれでもこの愛子と雄吉のやうでありたいものです。 雄吉と云ふてある武官の子で、其時丁度十二であつたと云事です。 ある土曜日の夕方、もとやこの雄吉も學校の課業を終つて散歩に出て、近いところの田畑の間を歩いて居ました。 夏のはじめゆゑ暑くも無く、寒くも無く、散歩には甚だ愉快で、思はず家へ歸るのを忘れて一人でぶら〳〵して居ました。 やがて只有る處まで來て不面向ふを見ればかねて學校朋友で自分も知つて居る愛子といふ其時やはり十二歳の女が居ました。 それも唯なら何とも思ひませんが、どうしたか、赤兒を抱いて路傍の石に腰を掛けて居ました。

「愛子さん、どうしたの？」

言葉とかけましたが、其實もう一人でそろ〳〵淋しく爲ッたところゆゑ引きつゞいて、「御遊びな」とすゝめました。

なぜか、しかし愛子は首をふりました。

「え、いや？」

と大きな聲で更に重ねて問ふと、しづかゝと愛子は手眞似をしました。 そして赤子を指さしていかにも氣づかふやうな小聲で、

「まア靜に爲さいよ。 この子ハ、ね、何處の子かわたし知らないの。 けれども今わたしがこゝに來たら捨てゝあつたの」。

おどろいて、「捨てゝあつたの？」、」

「あゝ、捨てゝる。 そして、 まア可哀さうなのよ、泣いて居るンざもの。 阿母さんがいつでも妾に言ふには人は慈悲といふ事として他を助けてやるもんだッてへので、妾いま抱いてこの子を家へつれてかうと思つたの。 そして抱いたらね、にこ〳〵笑ふんざもの。 それから歩かうと思ふと泣くもんだから、寢るまでこゝに休んで居るの。 だから妾とあそべないの」。

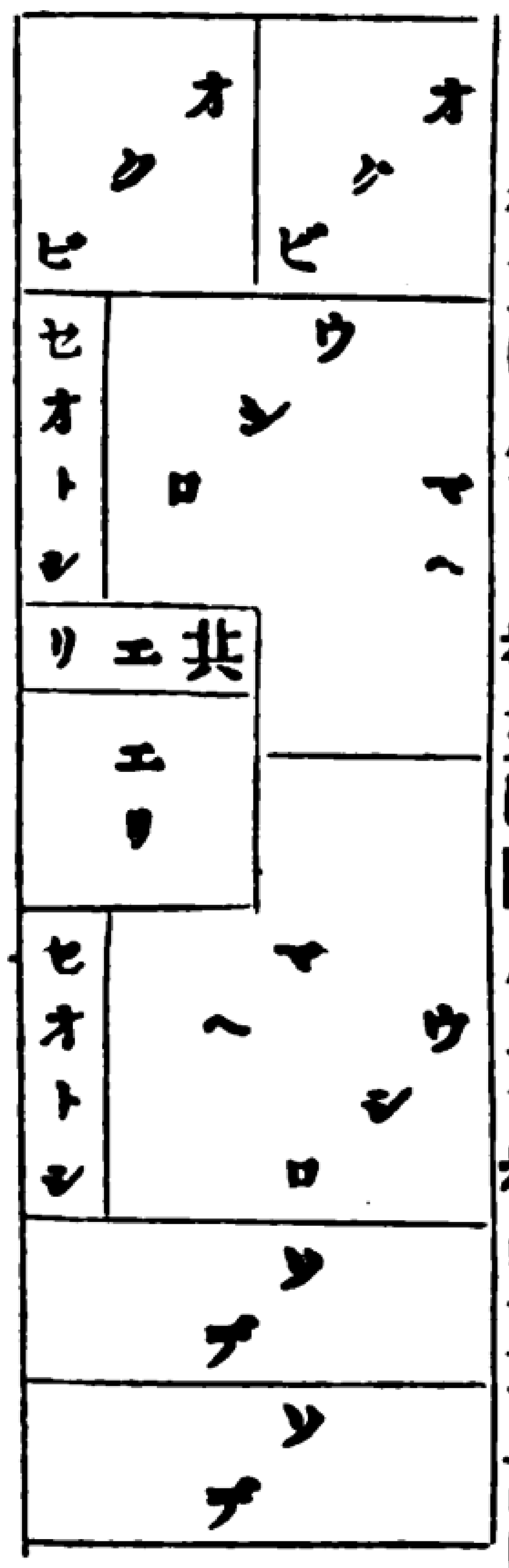
Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

雜纂

家政

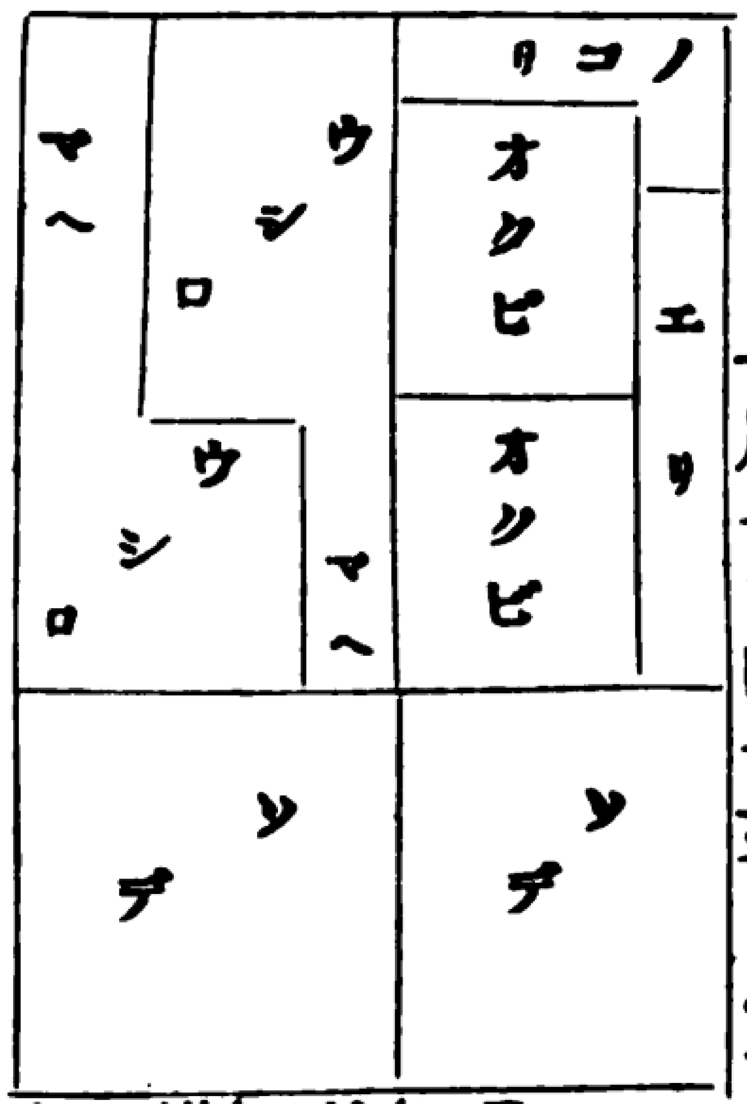
裁縫獨學び

並巾二丈一尺を以て前襟の裁方



袖丈け尺五寸襟丈け四尺五寸襟巾三寸前巾六寸五分後巾八寸五分袵丈二尺八寸襟肩二寸一分丈け三尺五分

一尺七寸巾一丈を以て四ッ身の裁方



袖丈け一尺七寸前巾四寸九分袖巾八寸五分丈け三尺三寸後巾六寸六分襟丈け五尺六寸襟巾二寸袵丈三尺一寸袵巾三寸五分襟肩一寸七分

枕蚊屋の裁方

並巾の切地大凡長さ一丈八九尺を要します。　縁ハ別の切地長さ一丈三尺半巾でたつのです。　そして其の壹丈八尺の内から一尺三寸づゝ六つ切地にきり、其の余り切一丈二寸を二つに裁ち其の切地で兩方の脇布と上の方の切地とを取るのです。

四五の蚊帳を丈五尺に仕立る時の寸法

長さ十一丈一尺八寸を要します。　縁ハ別の切地で裁つのです。

四六、五六のたち方

四六ハ長さ十三丈四尺、五六ハ十四丈二尺二寸之も縁ハ別の切地を用ゐるです。

六七のたち方

丈と五尺五寸にするときハ十八丈七尺六寸を要します。

これも縁ハ別の切地です。

七十のたち方

七十の蚊帳ハ二十九丈七尺八寸の布地を要します。　そると丈けハ六尺六寸にできあがります。

蚊帳及び枕蚊帳の縫方

蚊帳とぬひまそにハぐるりの切地を皆一布づゝ縫ひ合させそれから上の方の切地をぬひ、四隅の燧切を付け、次にまはりも上の方の切地の縁と一處に麻糸を入れこゝ、之とぬひ、環をぐるりにぬひつけ、又析付け、而して裾と縫ふのです。

枕蚊帳ハ最初に三布づゝ縫ひあはせ、兩端の切地として上の切地と兩方の切地を二布づゝ繼合はせ、之に兩方の切れ端切をぬひつけ、裾口へ半巾の切地で縁をとり、上の四つの隅へ燧の切地をつけ、其の周圍へ半巾を三つに割つて縁をつけるのです。

蠅、蜜蜂の羽の震動數

空中を飛ふ昆虫ハ其羽を震動させることで實に夥しいもので、無音で飛ぶやうでもはげしくあると矢張り音を發します。蠅と蜂で其例を言へバ、蠅ハ飛ぶときに一分時間に二万一千百二十回（即ち一秒時間より三百五十二回）其羽を震動させFの羽音を發し、又蜜蜂ハ一分時間に二万六千四百回（即ち一秒時間よハ四百四十回）震動させ、Aの羽音を發します。けれどもこれハ強壯のときのことで疲れた蜜蜂ハ一秒時間の震動數三百三十回に減じ又其羽音もEと變ります。これハ英國人メーレー氏の驗査したるものであつて、簡單な方法で測りました。　摘んでいへば、圓ひ棒のやうなものに細かい煤と隈なく一面に塗り、之をある方法で其位置を少しも變せす、恆に規則正しく廻つてゐるやうな仕掛にし、そして試驗しやうといふ虫の片足を指の先で押さへて圓棒の煤に觸れさせ、其棒に添ふて直線に虫を送つてくるのです。　すると虫ハはげしく音を發して其羽を震動させ、從つて其都度圓棒の煤とはたきます。　處でこの煤ハ容易く其体に觸るゝ物の恨跡を印するものですから、今觸れたあとが列んで自づから一の螺線を形作つてゐる、これと一秒なり一分なりの間に畫いただけ一つ〳〵算へるのです。　其の算へた點の數の前に掲げたものです。

れもん製法

夏中咽喉の乾いた折などにそれもん水を用ゐるのは宜しいです。　諸孃の中で作へて見やうといふ御方のあれバ次の法で直ぐ出來ます。　酒石酸一オンス、上等の白砂糖二オンス、重炭酸曹達一オンス右三種の中に香のよいれもん六十滴を加へて能く混せるのです。　これと貯へ置くには濕氣のない所に限ります。　用ゐる方はコップ一杯の水に一匕位の割合で宜しいです。

紫色の白牡丹

これハ佛蘭西の話である美術家か自分の娘を懸賞として工風畫の題を出しました。　其題の主意は一輪の白牡丹の半分を紫色で半分は眞白で、そして天然の花に背かぬ樣に畫いた者には娘と嫁にやるとの事でした。　此畫を畫いた少年は隨分ありました。が、其内で採用されたのは紫色の硝子瓶に挿した白牡丹の花の一輪其瓶の縁に垂れて居て、それに硝子瓶と通過して來る光線ご當つて其花の半分を紫色に見せた所の畫でした。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

新發明の電氣機械

世が文明よなるに從つて種々の機械が發明されます。此頃西洋で發明よあつたのは麵麭よバタと塗る機械でそ。其仕掛はバタを塗り附けた圓柱のブラシよ麵麭の切れが一つ一つ滑り出て塗れるのです。此機械は一時間よ七百五十切の麵麭を塗る事が出來ます。しかも麵麭の屑が出るではあく、其塗り方か平等よ行くのですから大きあ料理屋や學校あどよと隨分便利でせう。

奇体あ蟹

はアむざと云ふ處よ奇体あ蟹が住んで居ます。例を擧げて云へば山の上へ貝を運んで行くのもあれば、マングロウブと云ふ高い木の上へ昇るのもあります。けユぶばアど島の蟹には風に吹かれて飛ぶ紙の樣に速かに走るのもあり、ぐりインまうんてんの絶頂に昇るのもあります。大きあのは兎の穴を堀つて兎の兒を取るのもあります。ふヒつぴん諸島の蟹と盜賊蟹と云つてチヨコレイトの椰子（此樹の高さか六十尺許で葉の長さは十四五尺許りあのは大きい中です。其葉の眞中に實を結ぶ樹）の實を破つて食まそ。

蝸牛の生活力

蝸牛の生活する力の強いのと實に驚くべき程でそ。埃及の砂漠に居た蝸牛は湯に入れて博覽會に出品して置いたのが四年間も生きて居たとの事でそ。此外にも驚くべきのは十五年間も全く死んで居たのが生き返つたとの或る西伯亞では氷に鎖されて二三月も總身氷つて居たものが氷が溶けて復た生き返つたと云ふ事もあります。

支那人の奇風

支那では客と飯を食ふ時と客の方で云ひ出すのが例であつて主人からと云ひ出しません。が、客が云ひ出さあければ主人から云ひ出します。又此國には贈物と催促する例があります。其催促の仕方は進物より價の安いものを以て行くのです。貴族の家の奉公人は無給料で、反つて普通の家の奉公人の方が澤山給料を取ります。支那人の一生の大望と死んだ時に葬式を華美にする事と棺を美くしくする事ですから子のあるものは何んあ貧しいものでも人から金を借りるのが容易です。しかしこれと男の子に限ることで女では十人あつても廿人あつても無効です。此譯と借金の返濟が出來あ

けれバ貸主は其男れ子から三代れ間奴僕ふ使ふ權利があります
そが、女れ責任は自分の夫の借金だけ負ふバかりで、三代の閒奴僕になるに及ばぬといふ法律があるからです。　人に會つた時は――諸嬢も御存じの通り――手を振つて頭の上に捧げます。　親しい友ふ久しく遇てぬ時は疲れるまで自分の肩を摩ります。　互ひの御機嫌伺いえは「汝の胃はどうだ?」とか或は「汝て米を食べふか?」などと打ちつけに云ひます。或西洋人は支那人の迂濶を笑らつて、「小舟を馬に曳かせ、車を帆で馳しらせ」などと云ひました。　それも其筈です。此國では老年の者が鞠を搗き凧と舉げて、小供て却つて手と組んで見て居ます。　其上老女が反つて社會にめさされます。
婚禮の相談ば三日間位で調へて時間と費しません。　奇体な事には親しい中では結婚を出來ません。　知らぬ同志で急お話しが纒るのです。　ですから支那でも同じ町内で結婚の成るのは容易に見られません。　まだ一つ妙な事があります。それは自分が非常に憎く思つて居る奴て自分で手と下さず、自分が其者の家の前にいつて縊死するのです。――のオそ、ちやいお、へらるど。

西班牙の文學界

一時盛んであつてそして近世に至つて衰へたのは西班牙の文學界でも。　西班牙でまだ文學の盛な頃はセアも、せんか、せびゆ、及びその他の諸都市、あるからでへあいす、ばらとりん、へすか、セアせろな、あでイなでるかんば、さらまんか、さらおつさ、ているばうろくろオの、とろさ、ばつぷろオあ、まづりつど等にて書籍が續々顯はれました。　が、今では實ふ僅のあものです。　即ちまとりつど、ばアせろあ、せびあ位しゕありません。

大きさと長さ

物の大さは其命と自然に伴つて行くかとも思はれます。
即ち形の大きなものは久しく生きて小さなものは早く死ぬ樣でも。　木にも六千年の間生き、鯨よも五六百年の其生きたのがあります。　概して生長して大きな動物に同種屬の生存を求めるのも强よい樣です。　が、すぺんさアと云ふ人の經驗でて蛙と猫が馬位久しく生き、鯉が象程長く生きたもあつたと云ひました。　またわれそまんせいふ博士もアテセンが六十六年以上生きた事と話しました。

外國語を使ふ人數

ぢよんそん大統領の頃英語を使つたのは千六百万人でした。が、近頃では三千万人の佛人が英語を使ふやうになりました。或人の説では一千七百八十九年頃は五千万人もあつたとの事です。今より四五十年前には英語を使ふものも獨逸語を使ふものと殆んど同じ位でした。それが段々變つて近頃では英語の方が先づ勝を得ました。

今日で獨逸語を使ふのはとォそとろはんがりあんで千万人、獨逸帝國で四千六百万人、べるぎイで四万人、すうゐつつる近邊で二百万人です。以上が獨逸語を使ふ人數で、此他にも合衆國ゝおだて二百万人が獨逸語を使ひます。

佛語を使ふのは佛蘭西帝國で三千八百万人、べるぎイで二百二十五万人、ろオれんで二十万人、すうゐつゝるで六十万人、あるせや西伯亞阿非利加で百五十万人、合衆國とかなだで百五十万人、といちで六十万人で、合計四千五百万人。

本に染みた油を抜く法

秘藏の本などに誤つて油を落した時には此法を用ゐれば奇麗に抜けます。即ち油の染みたところの裏に苛性ポッタッシュと水に溶して附けるのです。

花顔玉手秘事（其四）

それからまた玉子の白味といふものが大變に身体白色と密接の關係のあるものでむかし羅馬人は之を以て常に身体を洗ひ、また希臘人も用ゐたとの事です。肉色のうるはしいのは後世何處の人種でも希臘人の上に出ぬといふ評も有るから又希臘人が養ひ得たその基も有る事でしやう。別に六ヶしい處方でも無く、玉子は白味に小麥粉と蜂蜜をねり交せるので、これこそいつでも寢しなに用ゐれば効が有つて、ことにならびた手または鮫肌などはたしかに直ります。

また人によると手に汗をかくので大に苦勞します。公會のときでも何でも些し人が群るやうな處で暑いと思ふと手に汗が湧くのは甚だ面白く無い事です。手の汗ぐらゐなら押へても構ひません。之を止めるには白墨を粉にして肌にすり込むのですが、簡略でそして實効が有ります。しかし是が多いと肌も荒れます。しかし夏はその患がありません。たゞ注意すべきはこの法はあまり無暗に度々やらぬ事です。あまり行ひ過ぎると肌理をわるくします。

大抵是で白色法は心得も終りましたから是からはかねて御約束の砒石白色法、それを次号には載せます。實は今

までに早く所存のとゐろ、いなく／＼都合が有つてさう行きませんでした。　今度こそと用意がとゝのひましたから間ちがひ無く次号には載せます。　これ法いまこそと軽々よ看過ぐすべきもので有りません。

新流行和服の胸飾

いらつめ方は前号のいらつめの豫告にしたがひ、本号のとめよ其雛形だけ見せたところの新流行に御目をとめた事でしやう。　實よこれが近頃めづらしい、大きな新趣向でせ。圖した處はまだ髪をもをさめぬ風の婦人ですが、これい文金高髷でも、束髪でもよろしいのです。　それで其きはだつて變てつた處と言ふはその胸かざりと付けることです。　胸かざりと言ふものは或は真珠、金剛石、紅玉、賓玉、水晶、黒燿石あとの寶石まゐて貴金属を以て珠數のやうなものを作り、それを首へ掛けることで、西洋婦人が大禮服を着した時には大抵之を用ゐます。　或と金臺よ金剛石を入れたものもあり、或ハ銀臺に紅玉を嵌めたものもあり、また水晶あり何あり其體と細工して直に一聯よつらねたり　其種類さま／＼ですが、之を胸にかけて、その絹の羽二重か、薄色の薔薇かとも思はれる咽喉、まさは胸にあゐつて燦爛として目を射るものを掛けた處は非常な壯觀のものでせ。　今西洋と交際してからこゝに卅年、兎に角腕環もまた指環も今日の處まつたく西洋風になりました。　襟せめにさへ婦人ボタンを用ゐるやうに爲りました。　たゞ胸かざり、是だけい今までに些しも行はれませんでした。　が、今よあつてやうやくまた用ゐるやうな爲りました。

もとより日本服ハ西洋婦人禮服のやうに大きく肌をあらはす風でも無く、從つて胸かざりを掛けても更よそれが殘らをは現れませんが、さてそれでその前のところは一部分はのかにあらはれます。　是については猶言ふ事が澤山有りますから委しくと次号を御讀み下さい。　この号と御知らせだけ。

黒八丈

黒八丈の着物が急よ現れた京城ハ新流行です、羽織と之に亞ぎまそ。　まかしまな流行はことしの秋です。

漢字異語同義（つゞき）　秀溪子

いまだ
未　巳の反。その事のまださうあらぬ事。
いはふ
祝　呪と同。　いのること。
いよ〳〵
愈　いやがうへにある事。
逾　すぎこえてすゝみゆく事。
彌　むしやうにひろがりわたること。
いへども
雖　けれども、それはさうなれども又かういふことがあるといふ意。
いだく
抱　かゝへたもつこと。　いだいてふところにする事。
擁　兩手でかこふさま。　さし挾さまいだくこと。
挾　いだきたもちて、をさむる事。
懷　ふところにし、つゝむこと。
含　口にものをいれてたもつこと。　いだくとも讀ます。
腹　はらの中にしてもつこと。
いぬる
寐　目がとぢふさがる時神氣をさまる事。

寢　ねどころへはいりて、臥しいこふ事。
瞑　まぶたのふさがつてあふ事。
いたづら
徒　むなしくいたづらなること。
空　むなしき部に出づ。
閑　ひまと訓す。　ひまなこと。
いま
今　古の字に對していふ。　手近きところ。
いづる
出　かぎり外へ出でゆく事。
突　穴の中より犬のひよつと飛び出る事。　すべて物の不意に出る事。
凸　なかの高く出る形ち。
いつくしむ
慈　あはれむの部に出づ。
愛　上にあり。
恩　各その所を得るやうにしてゆく事。
寵　人に異なるちようあいを身にかうむる事。
仁　人を愛することを心とすること、
偎　愛し近づくさま。
嘔　なでそだつること。
嚴　おごそかの部に出づ。

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

數學

第五十一号解義　　岡田榮吉

●算術

（1）題意を按ずるに末位を消して其十六倍を上位から減ずるは丁度末位の百六十一倍を其數から減するに等しいです。此法を操り返して最後に零か又は其素數の倍數が殘るといふので見れば其百六十一自からが既に其素數の倍數でせう。今百六十一を分括すれば二十三と七とになります。題意に依れば二位の素數を求むるのですから此二素數の中二十三の方を答と致します。

（2）此問題を級數で解くのは諸嬢も御存じでしやうから少し變つた解を致しませう。今試みに與式へ $\frac{8}{3}$ を掛ければ出來る數は與式に 5 を加へると一樣です。それ故與式の値は $\frac{8}{3}\div\left(\frac{8}{3}-1\right)=3$ 個となります。

（3）呉服尺で量つた長さを曲尺に直はすには八で割つて位は一位進めれば宜しいです。此法に依つてテーブルの直徑は曲尺の一尺二寸五分のを用いて三寸餘ることがしれました。で、二寸不足するのは八寸餘るとも云ひ換へられましやう。即ち二つの曲尺で各 $(8-3)\div(12.5-10)=2$ 回づゝ量かつたので直徑は $10\times2+8=28$ すです。從つて周圍は $28\times\frac{22}{7}=88$ すし即ち八尺八すとなりませう。

（4）今假りに n を七として題意を式に顯はせば $\left\{10^{7}+(7+1)\right\}\times\left\{10^{7}-(7+1)\right\}=10^{7}-(7+1)^{2}$.（第四十九号算術(5)の解を御覧なさい）。で、$10^{n}$ 即ち 10^{7} は 2^{7} と 5^{7} との積ですから 10^{7} を約すことの出來る數の數は $(7+1)\times(7+1)=(7+1)^{2}$.（此理は紙面の都合で省きました。何れ後日說くこととしましやう）。10^{7} を約すことの出來る數の數を 10^{7} から引けば 10^{7} の約數でない數の數となるのは無論です。

●代數

(1) 此問題の x y とあるのは xy の誤りでせう。今此相等式の前節の分母で分子を除れば $x+y$ となります。$x+y=xy$ 此兩節を各 xy で除れば。$\frac{1}{x}+\frac{1}{y}=1$ 今此結果を見ますに一を分子とする二つの分數の和が1個あれば其各の分數は互に相等しくなりませう（さもなくば異つた分數甚二つの和が一個となり—但し x、y はともに正の整數—不都合です）さすれば此二つの分數の各は二分の一となり xy は 2×2 即ち 4 なることが明かです。

（2）$\frac{x}{x^{2}+1}+\frac{x^{2}+1}{x}=\frac{5}{2}$ に於て $\frac{x}{x^{2}+1}=y$ と假定すれば、本式

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

より$y+\frac{1}{y}=\frac{5}{2}$，$2y^2-5y+2=(2y-1)(y-2)=0\therefore y=\frac{1}{2}$or2
之を本式にあてはめれバ、$\frac{x}{x^2+1}=\frac{1}{2}$or2之と解いて、始めの
より$x=1$後のより$\frac{+1\pm\sqrt{1-16}}{2\times2}=\frac{1}{4}(\pm\sqrt{1-15})$を得て、$x$
の値ハ都合三つあります。

●幾何

（1）對角線ハ一つの角点から其兩隣りの角頂を除いて他の角頂へ結びつける線のとですから二十一角形内にハ$21\times(21-3)=378$個の對角線が引ける筈ですが來羅の二線が一つ處を通りますから實際對角線の數ハ$378\div2=189$個です。

右解答縁梅子

算術　縁梅子

（1）東西兩地より同時に出した二人が半途より西へ十二里寄つた場所で出遇つた後東使は九日乙使は十六日九分の六にてそれぐ兩地へ届きました。　兩地の距離は？

（2）二三五六の四つの數字で作つた數へ七を掛けた積の列數字れ積ハ二十二です。　其理？

（3）二四五七九の五つの數字で作つた數へ六を掛けた積には奇數が三つあります。　其理ハ？

宇佐美かを子

（4）一斤十二錢の珈琲と買入れて十四錢五分の二にて三分の二たげより十斤多く賣つてそれで原價を得ました。　買入れた斤數は何程？

（5）同じ程の金員で米一斗二升麥一斗八升買へるとして其價を以て米麥同量に買ふにハ何升にて宜いでしやう？

代數　宇佐美かず子

（1）左式と証明せよ！

$(1+2+3+4+\cdots\cdots+n)=1^3+2^3+3^3+4^3+\cdots\cdots n^3$

（2）$x^2-18x+85$といふ式のxに何んな數を用いても四より小さい事はありません。　其理？

前号の正誤　算術の第(3)二尺四すハ二寸四分、第(4)の因數の因ハ個の誤り、●且つ和とれ差ハ和と差の誤りでした。

又代數れ第(1)の下のx yハxyの誤りでした。

通信問答

むぐらさま㈠色のある紙の手紙は貴人に對して用ゐるものでありません。招待狀なども本當は白にあつさりと墨で文句を揃つたのが一番です。但し摺物とか、あアドとか言ふ物は例外です㈡府下で何雜誌が發兌高が多いとの御尋ね、子細なつて是れは御こたへしません㈢洋本は虫が食はぬ物と言ひ升㈣脚本とは芝居の本即ち臺帳の事です㈣いらつめの開卷にある香爐は清少納言に因んだ圖で、そのため香爐に峯が模樣に爲つて居ます。全体は御簾形をうつしたもので、フチの雲散らしは御簾のへりの絹の目立です㈤淺山人は巖谷季雄です

天保吏さまへ　㈠第卅三号中履物其他の病と去る法、あれと行つて後石鹼を用ゐても無害です㈡湯に入つて上り際に氷をおびるのは餘りいゝ事でも有りません。湯をあびるのもよくはありません。湯でふさ〳〵と身体を洗つて上るのが一番です。㈢石鹼で顔を洗ふにも微温湯が一番です。

うひ學びさまへ㈠トボソは扉とて小さな入口の門或は木戸と言ひます㈡メデクツガヘルとは威に極まるの意㈢霸は前後の文勢は知りませんが、キツナと讀むのでしやう㈣無慙ゝは破廉恥の意㈤富の小川の流れ、これは歌道に志を入つたとの處に用ゐる成文です。忍ぶのもとの言ひ葉も同斷㈥後鳥羽天皇敷島御歌會の御の解、是は本文と知りませんゆゑ御答へが出來ません(十一)淺茅生はツバナの事、つばな草とは春の野に生きる草で花も咲きます(十二)おとゝのオホン、是はオホエの御目誤りでは有りませんか(十三)藤おろもとは如何にも異服です

中山芳花女史さまへ㈠通信問答は端書よりは封書が宜しいです㈡女に適當な英字習用本はスペンセリアンの習字書です㈢カマイタナといふは空氣の作用で出來るのです、動物でも何でも有りません㈣小芙蓉氏の本名は其人からの請求により申しません。年齢は十七歳。某女學校の生徒です㈤鳥田と束髮の優劣、是は前のいらつめに出て居ました㈥俚歌よりは唱歌の方が優美です

西村千代子さまへ　前号よ御約束した婦人の職業の件、猶取調べが不充分ゆゑ次号まで延す事にしました。あしからず

無名女さまへ㈠フケを去る法は前よいらつめよ有つた髮垢は去る法即ち硼砂と龍腦の混和劑で宜しいです㈡大抵の織物を日本でもこしらへます只品に優劣が有るばかり㈢今日婦人書工の有名な人は跡見花溪(小石川)跡見玉枝(麹町)野口小蘋(神田)などです㈣伯父母は父方ので叔父母は母方のです㈤押繪道具と言つて前のいらつめよ出した通りで別よ大したものでも有りません、大概は小間物屋に有ります㈥西洋人の小兒が白色のものを主に用ゐるのは別段のいはれでも有りません(七)眞綿の吸ひ出さぬやうする法は知りません。

谷竹丸さまへ名刺は百枚以上ならば弊社で請負ひます。摺入り百枚並形四拾五錢遞送料四錢、以下は御斷り。

花英好子さまへ　小說文章著作法、是れは紙幅が無くて次号よ延ばしました。

第四十九号疑問

㈠縮緬紗の襟垢を去る法……山縣小太郎
㈡日本で第一に出した新聞紙……神崎ゑい子
㈢サルチル酸の良否鑑別法……加登桂子
㈣編物裁縫の良書籍定價著者其名……志田いよ子

第五十一号疑問

㈠漢和兩書の文法の詳な本の名及代價……谷みづ子
㈡絞りを延ひぬやうに洗ふ法……何がし女

第五十三号疑問

㈠金入り半襟(但しちりめん又は織物)これを色が變らぬやうに活洗ひにする法……無名女
㈡朱肉などの物よ付いたのを落す法……しづ子
㈢美濃紙一帖四十八枚半紙一帖廿枚、此定りの出來た時を問ふ……中山芳花女史

以上掲載疑問確答者にはいらつめ一部呈上●賞答廿日限り

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

○懸賞文藝新題

○第廿一回題（何でもよろし）　五月廿日〆切
右　老女杜鵑を開く

○第廿二回題（唱歌文章に限る）　六月十日〆切
右　梅雨窓前に香を焚く

○第廿三回題（唱歌ニ限る）　六月廿日〆切
右　午睡美人

○第廿四回題（唱歌文章ニ限る）　七月十日〆切
右　採蓮女

○第廿五回題（何でもよろし）　七月廿日〆切
右　盆燈籠

○第廿六回題（文章に限る）　八月十日〆切
右　谷れ螢

○第廿七回題（何でもよろし）　八月廿日〆切
右　源氏を讀む

○第廿八回題（何でもよし）　九月十日〆切
右　世中れ人の品定め

右は男女ニ限らぬ或は夫、或ハ妻、いづれにしろわこの望む理想の佳人君子の品定めと言ふのです。

○廿九回題（何でもよし）　九月廿日〆切
右　子の生れた時の親心

○第三十四題（唱歌文章に限る）　十月十日〆切
右　殘夢

近頃應募者れ中に應募規則ニ背くものの有りますの是から其作の巧拙ニ關せず犯則ハ容赦なく審査外にします

右文藝應募者心得

○第一　題を種にして成るべく趣向を立てるれを伺ふ事○第二　唱歌淨瑠理及び文章は各一千五百字以内の事○第三　一人で二種類の作を投せられた人は一種類各別々の紙に書く事○第四　原稿ニは宿所姓名明記の事○第五　原稿は半紙に限る事○第六　第一第二第三第四及び第五に背くものハ沒書。賞品

菊水摸様の金又は銀杯　○二等いらつめ十二部○三等三部

◎從來當いらつめは神田區松下町熊出活版所で印刷しましたが同所近頃非常な繁忙で其爲當いらつめも毎々期日を誤り當社から大方讀者ニ向つて何とも申譯無之其爲今度同處の印刷を廢しました故此段御報知申し猶從來の期日遲延の謝罪をします

成美社

學而會規定

第一條　本會ハ學而會ト稱シ本部ヲ大阪ニ設置ス

第二條　本會ハ政事法律經濟ノ三學科研究スルノ機關トシテ經政法理ヲ發兌ス

第三條　本會ハ何人ト雖モ會員タルヿヲ得

第四條　會員ヲ別チ特別會員普通會員ノ二種トス

第五條　普通會員ハ毎月五錢ノ會費ヲ徴収シテ經政法理一冊ヲ頒布ス

第六條　何人ニ限ラズ會員十名以上紹介セシ者ニハ特別會員トシ會費ヲ要セズシテ經政法理一冊ヲ贈呈ス

第七條　經政法理ハ當分毎月一回發兌ス

第八條　會員タラント欲スルノ士ハ住所姓名ヲ明記シ事務所ニ申込ベシ別ニ申込書式ヲ要セス

第九條　經政法理ハ論說、講義、問答、詞林、批評、飜譯、雜錄ノ數門ニ分ツ又小說及外報ヲ掲クヿアルベシ

第十條　前條ノ外別ニ寄書欄ヲ設ケ普ク會員ノ寄書ヲ掲載ス

第十一條　會費前納セザレハ經政法理ヲ送致セス

第十二條　會費送達ハ各自ノ便ニ任スト雖モ郵券代用ノ向ハ一割増トス但シ豫メ事務所ニ照會シテ認許ヲ得タル者ハ特別之ヲ免除スルヿアルヘシ

第十三條　事務所ハ當分東區今橋五丁目百番屋敷ニ置ク

第十四條　本會ハ時々懸賞問題ヲ掲ケ優等立案者ヘ金錢又ハ幾月分經政法理ヲ進呈ス

本會ヘ對シ毎回必ス執筆ノ承諾アリタル諸君如左

法律學士　井上操君　　前田肇君
法學士　柿崎欽吾君　　前川槇造君
法學士　遠藤忠次君　　正七位　矢野茂君
境野熊藏君　　帝國大學卒業　河野通章君
法學士　山口莊吉君　　代言人　澁川忠次郎君

此他博士學士名望家ニシテ特別寄書ヲ承諾セラレタル諸君ノ姓名ハ略ス

會主　堀田正忠　　編輯人　大野昌太郎
發行人　和田稔之助　　印刷人　武田信一
發行所　大阪東區今橋五丁目百番屋敷　學而會
印刷所　大阪道修町三丁目八十五番屋敷いろは出版會社

● 眞理第七號

毎月一回發兌
四月廿日發行

目次

眞理
黨派の流弊
獨英に於ける宗教的生活……翠 胥 生
ボールの基督信徒となりしは果して奇蹟の……シユミーデル

聖書
使徒行傳

雜錄
聖書に付ルーテルの論評……S. C. H.
ライフアイゼン氏の貸資會……ドクトル、ワートゲン氏序
蜂の白雲
上杉謙信の逸事……麻 績 斐 譲

文園

摘英

雜報
歐洲治亂の大勢●窃かに米價の騰貴を怪む●米商會議所を要する乎●曾侯死せり●曾侯の見識●牡丹伯と軍鶏伯●有賊殺外國教師●米人何の顏かある●富は快樂を與へざる●讀むべからざる書●府下貧民の收入●美術の災●都下第二の花●地震統計●法令彙集●内國第三博覽會開く●神學先生に問ふ●異端?●印度婦人●ラマバイ孃●勞働問題●比斯馬克侯の辭職●曼帝の決心●ルーテル聖書●ウルギニア洲の知事●一貴女なり●聖書の惠●政事に干渉する僧侶の事●シベリヤだより●伯林の東洋語學校●魯國の宗教運動

投書
基督教會外の基督信徒即ち眞正なる敬信家……秋山銀二郎

普及福音教會錄事

發行所　東京市駿河臺鈴木町十一番地　世光社

●女學生●

編輯組合　櫻井女學校。跡見女學校。成立學舍女子部。海岸女學校。新榮女學校。頌榮女學校。女子獨立學校。明治女學校。長榮女塾。東洋英和女學校。青山英和女學校。女子神學校。横濱二百十二番共立女學校。同フエリス和英女學校。其他組合續々申込中。

女學生は各女學校文學會の中心となり、記錄となり、廣告となり、尚ほ其奬勵者たらんとを欲して、世に出んとす。

女學生は、社説に於て女學生の爲めに學藝上の論説を揭げ。文欄にて、各女學校れ文學會より撰出寄送せられたる文章詩歌書英文等を集錄し、且つ其れ欄頭欄に一々社評を加へ。評林にて、右各文章に對する世上讀者の寄評を揭げ。寄書には一般女生の寄書を収め。報告には各文學會の報告を載せ。別に講武れ一欄を置て女性の武道女德を修練せるれ工夫を教ゆ。

各女學校文學會あらざるにあらず、而て其の思の外に隆盛ならざるは、其の奬勵刺激の足らざるが故にて、扨て其の奬勵刺激の足らざるは事内に滯りて外に發表するとなきが故になる也。本誌「女學生」は此大欠點を補ふが爲め出生す、各文學會の美粹を之より一々世上に滿開し、閨秀をして空しく世の埋木たらしむるとなく、且つ看者の一是一非悉とく其下に集るときに於てし、亦是れ女生三省の好材料となるべし。

女學生一冊定價五錢五厘、郵稅五厘、每月廿日發行、躰裁國民の友大、紙數凡そ三十頁以上。

五月廿日　第一號發兌　女學雜誌社

我園体ハ全國實業農家ノ結合ナリ故ニ農家ハ勿論農業ニ關係アル業務ニ從事スル士ハ必ラズ加盟セラルヘキコトナリ

帝國農家一致結合

内外ノ雜誌ヲ刊行シ配布ス

農談ハ即機關雜誌ナリ見本六錢　本年四月卅日第十三号發行

會費一ケ年五十錢入會金五十錢（一度限リ）ニシテ每月一回美濃紙大ニシテ紙數二十ページ

五月一日ヨリ規則改正ス郵劵貳錢ニテ該規則ヲ送ル

靜岡縣遠江犬居　事務所　好耕園